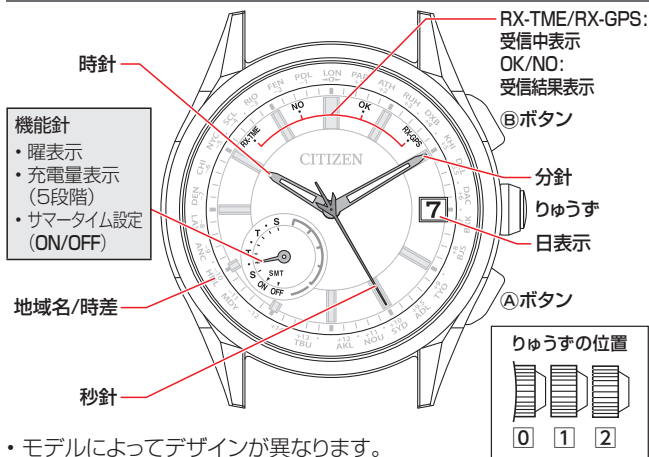


F150 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/f150/f150.html>

各部の名称



• モデルによってデザインが異なります。

衛星電波の受信結果を確認する

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを押す

前回の受信結果が表示されます。

3. ① ボタンを押して、終了する

表示	受信結果
OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

衛星電波を受信する

- 受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

位置情報を取得する

取得した位置情報から、自動でワールドタイムを設定し、時刻/カレンダー合わせを行います。

- 位置情報の取得には、30秒～2分かかります。
- 各地域のタイムゾーンについては、2015年1月時点でのデータに基づいております。

1. りゅうずの位置を①にする

2. 秒針が「RX-GPS」を指す(4秒間程度)まで、① ボタンを押し続ける

- 受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

時刻受信

- 時刻受信には、3～30秒かかります。

1. りゅうずの位置を①にする

2. 秒針が「RX-TIME」を指す(2秒間程度)まで、① ボタンを押し続ける

- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

うるう秒受信

- うるう秒受信には、36秒～13分かかります。

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを7秒間押し続ける

秒針が一度「RX-TIME」を指してから、一回転し再び「RX-TIME」を指したら、ボタンを離します。受信が始まります。

- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

サマータイムと標準時刻を切り替える

1. りゅうずの位置を①にする

2. ① ボタンを押す

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

- ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

3. りゅうずの位置を①にして、終了する

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムを設定する

1. りゅうずの位置を①にする

秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

2. りゅうずを回して、時差を設定する

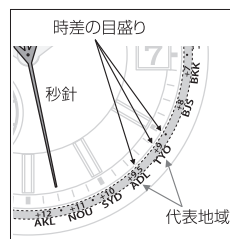
時刻表示が切り替わります。

- 時差の設定については、下記の「時差の表示の見かた」と「時差と代表地域の表」をご覧ください。

3. りゅうずの位置を①にして、終了する

機能針が曜表示に戻ります。

時差の表示の見かた



時計上には、時差の目盛りが40あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

図では、秒針が28秒を指している、時差の設定は「+11.5」になっています。
• 時差は、UTC基準になっています。

時差と代表地域の表

UTC基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域
0	0秒	LON	ロンドン
+1	2秒	PAR	パリ
+2	4秒	ATH	アテネ
+3	6秒	RUH	リヤド
+3.5	7秒	—	テヘラン
+4	8秒	DXB	ドバイ
+4.5	9秒	—	カブール
+5	10秒	KHI	カラチ
+5.5	12秒	DEL	デリー
+5.75	13秒	—	カトマンズ
+6	14秒	DAC	ダッカ
+6.5	15秒	—	ヤンゴン
+7	16秒	BKK	バンコク
+8	18秒	BSJ(HKG)	北京/香港
+8.75	20秒	—	ユークラ
+9	21秒	TYO	東京
+9.5	23秒	ADL	アデレード
+10	25秒	SYD	シドニー
+10.5	26秒	—	ロード/ハウ島
+11	27秒	NOU	ヌーメア
+11.5	28秒	—	ノーフォーク島

UTC基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域
+12	29秒	AKL	オークランド
+12.75	31秒	—	チャタム諸島
+13	32秒	TBU	ヌクアロファ
+14	34秒	—	クリスマス島
-12	36秒	—	ペーカール島
-11	38秒	MDY	ミッドウェイ諸島
-10	40秒	HNL	ホノルル
-9.5	41秒	—	マルケサス諸島
-9	42秒	ANC	アンカレッジ
-8	44秒	LAX	ロサンゼルス
-7	46秒	DEN	デンバー
-6	48秒	CHI	シカゴ
-5	50秒	NYC	ニューヨーク
-4.5	51秒	—	カラカス
-4	52秒	SCL	サンティアゴ
-3.5	53秒	—	セント・ジョンズ
-3	54秒	RIO	リオデジャネイロ
-2	56秒	FEN	フェルナンド・デノローニャ諸島
-1	58秒	PDL	アソレス諸島

うるう秒の設定を確認・修正する

- うるう秒の設定の修正は、うるう秒受信で自動で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jij.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

1. リ्यूズの位置を②にする

2. ⑧ ボタンを2秒間以上押す

秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「-36秒」のとき	うるう秒の設定が「-65秒」のとき
「0分36秒」を指します。	「1分5秒」を指します。

3. うるう秒の設定が正しくないときは、リ्यूズを回して設定を修正する

- 修正できる範囲は、0秒から-90秒です。

4. リ्यूズの位置を①にして、終了する

時刻・カレンダーを手動で合わせる

1. リ्यूズの位置を①にする

2. 秒針が30秒を指すまで、⑧ ボタンを押し続ける

3. リ्यूズの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

4. ⑨ ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ

- ⑨ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
分針→時計→日→年/月→曜→(始めに戻る)

5. リ्यूズを回して、針/表示を合わせる

- 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
- リ्यूズを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。
- 動きを止めるには、リ्यूズを左右どちらかに回します。

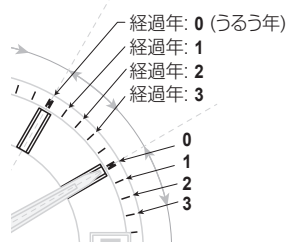
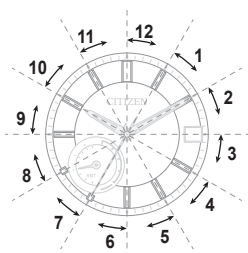
6. 時報に合わせ、リ्यूズの位置を①にして、終了する

年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。

「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



- うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

充電量と発電量の確認

1. リ्यूズの位置を①にする

2. ⑧ ボタンを押す

⑧ ボタンを押した時点の充電量と発電量がレベル表示されます。

充電量のレベル表示

レベル	4	3	2	1	0
充電量表示					
およその持続時間	2年～1年7ヵ月	1年7ヵ月～1年2ヵ月	1年2ヵ月～5ヵ月	5ヵ月～5日	5日以下
表示の意味	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まっています。	充電警告が始まっています。
	安心してお使いいただけるレベルです。				すぐに充電してください。

発電量のレベル表示

発電量のレベルとは、ソーラーセルの発電量を0～6の7段階で示したものです。

レベル	6	5	4	3	2	1	0
充電量表示							
表示の意味	発電量は、充電に適しています。	発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。					

3. ⑧ ボタンを押して、確認を終了する

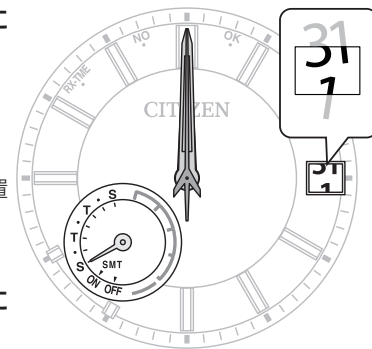
基準位置を確認する

1. リ्यूズの位置を②にする

2. ⑨ ボタンを4秒間押し続ける

正しい基準位置:

- すべての針:12時位置
- 日表示:31と1の間
- 曜:日曜日



3. リ्यूズの位置を①にし、⑨ ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を修正する

1. リ्यूズの位置を②にする

2. ⑨ ボタンを4秒間押し続ける

3. ⑨ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ⑨ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
日/曜→時計→分針→秒針→(始めに戻る)

4. リ्यूズを回して、針/表示を修正する

- リ्यूズを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。
- 動きを止めるには、リ्यूズを左右どちらかに回します。

5. リ्यूズの位置を①にする

6. ⑨ ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

1. リ्यूズの位置を②にする

2. ⑨ ボタンと⑧ ボタンを3秒間以上押して、離す

ボタンから手を離すと、各針が動き、リセットが行われたことをお知らせします。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、ワールドタイムの設定を行い、手動で電波を受信して、時刻とカレンダーを合わせ直してください。